

自然エネルギー信州ネット

2021 年度定時通常総会 議事録

日時：2021 年（令和 3 年）5 月 30 日（日）

11：15～12：15

場所：オンライン

出席者（敬称略）：

【役員】

高木 直樹	理事・会長・議長
平島 安人	理事・運営会議議長
合原 亮一	理事
茅野 恒秀	理事
菅沼 利和	理事（委任出席）
宮入 賢一郎	監事
浅輪 剛博	事務局長

【会員】（正会員 21 名 委任状出席正会員 43 名 行政会員 3 名 準会員など 7 名）

■決定事項 全議案はすべて承認された。

第 1 号議案	2020 年度 事業報告	資料 1-1
第 2 号議案	2020 年度 収支決算報告および監査報告	資料 2-1 2-2 2-3 2-4
第 3 号議案	2021 年度 役員選任	資料 3 役員名簿（案）
第 4 号議案	規約一部変更の件	資料 4 規約一部変更
第 5 号議案	2021 年度 事業計画（案）	資料 5
第 6 号議案	2021 年度 予算計画（案）	資料 6-1 6-2 6-3

議事次第

定数確認：正会員 80 名のところ、委任を含め 64 名の過半数以上の参加があり、総会成立を確認。

1. 総会開会の辞
2. 会長あいさつ
3. 顧問あいさつ

柳原顧問代理 松本課長補佐：脱炭素に向けて世界的にもローカルでも重要性が増しております。先程の講演会も聞いておりました。どう行なっていくか重要だと思いました。信州ネットの皆様とゼロカーボン戦略の実現に向けて今後も協働をよろしくお願ひします。

4. 議長選出

高木会長を議長として満場一致で選出。

5. 議事

第 1 号議案 2020 年度 事業報告 資料 1-1

第 2 号議案 2020 年度 収支決算報告および監査報告 資料 2-1 2-2
2-3 2-4

議長（高木会長）：第 1 号議案、第 2 号議案は双方とも昨年度の活動報告なので、続けて審議します。

浅輪事務局長：資料 1 では、運営会議の資料より変更があったところを赤字で記してあります。主に参加者数など定量的な成果を追加してあります。

資料 2 の決算では、金子監事のご指摘で受取補助金は、動画作成協力でしたが、これを収益事業に変更。法人住民税は全額、収益事業に変更しました。以上です。

高木議長：続けて、監査報告もお願ひします。

宮入監事：金子監事は欠席ですので代理も含め報告させていただきます。監査の結果、会計および業務において会計帳簿の記載内容とも一致し、正しく行われていることを確認しましたので、ご報告します。

高木議長：特に質問もないようですので採決に入ります。

採決 満場一致で第1号第2号議案 承認された。

第3号議案 2021年度 役員選任

資料3 役員名簿（案）

高木議長：続いて第3号議案です。説明をお願いします。

平島理事：信州ネットの理事会とも言える運営会議議長であった私より、ご説明いたします。

本年度より二年任期が開始されます。企業会員として理事に就任いただいていた小野理事が定年退職とのことで理事を退任されました。

また、運営会議以降、特に大北エリアから小谷生活エネルギー研究所の新井東珠さんを理事にと推薦したところ、お受けいただけるとのことでしたので、総会に諮りたいと思います。RE リゾートなどで注目も浴びていますので、活躍を期待しています。それ以外の理事、監事は重任の提案になります。

高木議長：ご意見、ご質問などないようでしたら採決に入ります。

採決 満場一致で第3号議案 承認された。

新井新理事挨拶：小谷村在住の新井です。自然エネルギー信州ネットに今後少しでも貢献できればと思っていますのでよろしく願いいたします。

第4号議案 規約一部変更の件

資料4 規約一部変更（案）

高木議長：事務局長より説明をお願いします。

浅輪事務局長：運営会議で承認された資料より、誤字を変更したのみになります。ユース会員の新設が主な内容で、また、除名の取り決め、解散時財産の帰属に関して項目追加を提案したいです。

高木議長：採決は最後にまとめて行いたいと思います。

第5号議案 2021年度 事業計画（案）

資料5

高木議長：続いて第5号議案。平島理事、ご説明いただけますか。

平島理事：信州ネットは2021年7月に設立10周年となり、いよいよ11年目に入ります。開始当初は専門部会が中心に動いて知識などを共有していまし

た。ここ数年はプロジェクト実現のフェーズということで、実際の活動の中心になっているプロジェクトを中心に活動計画を作成しております。今年度は長野県のゼロカーボン戦略を受け、また、記念講演の平岡さんのお話も反映していくなど、都度、計画もアップデートしていければと思っています。主な方針として、下記の4つを掲げています。

1) コアセミナー。長野県内の自然エネルギー調査の成果を少しずつまとめていきたいと思っています。他の地域でも活用できるような形で。また、本日もありましたがテーマごとにセミナーを連続開催していきます。

2) 専門分野ごとのプロジェクト実行で専門セミナーも開催していきたいと思っています。また、自然エネルギーや省エネルギー拡大の阻害となっているような疑問、誤解を解くことができるようなFAQを専門部会の助言も受けながら作成していきます。

3) 重点地域への立ち上げサポートとして、今日のセミナーにもありますが、まちづくりにもエネルギーの視点を入れていくことが重要だと思っています。交通、エネルギー融通、建築、農林業など。昨年度と引き続き、鬼無里、白馬地域、松本地域、そして、小谷村でのプロジェクトなど進めていきます。南信・北信でも会員によるプロジェクトがあります。

4) 県や市町村との協働事業では、産業クラスターの形成で、中小企業のサポートを計画しています。今日のセミナーも参考になりましたし、昨年度末に行なったアンケートや調査の結果も反映して実行していきたいと思っています。

新規プロジェクトの立ち上げでは、やはり中間支援団体としての人材が十分でないという課題がありますので、人材育成・人材発掘を重点的に行いたいと思っています。

高木議長：何か、ご意見ご質問がありましたら。

会員1：パワーアップミーティング（PUM）ですが、今まではプレゼンで終わって、その後の実行につながったものが少なかったような気がします。提案者も含めて、しっかりと自分たちで形にしていくような構想、体制、覚悟なども伴えるものにできたらと思います。一つの事例についてみんなで深めるという内容もいかがでしょうか。

平島理事：昨年度、一度行ったのですが、自分でひっばっていくような形が取れればと思います。

高木議長：もっともだと思うのですが、実際に行うのは手間がかかるというか事前準備も必要なので工夫が必要です。

浅輪事務局長：先程の平岡さんのオーストリア中間支援組織の話でも、職員が30名とか40名いる例もあります。現在の理事／事務局は皆非常勤で人数も少なく、全てをサポートするのが厳しいですね。PUMだけでなく、各地でサポートしたいプロジェクトはたくさんあるのですが、実現まで持っていく体制がありません。そのような課題意識もあり、今年度の活動計画では人材育成を重

点的に行きたいと入っています。

昨年のPUMは久しぶりの開催ということもあり、5、6個のたくさんの発表があったのですが、数を1つ2つに絞るというご提案の通り、実行体制、実現性まで深める時間を取ればと思っています。

また、プロジェクトを進めるにあたって、どんな専門人材とマッチングすればいいか、相談すればいいかが分からない場合もあると思います。本当は懇談会などを行なって人柄など含めて交流をできればと思うのですが、まずは、オンラインで会員の活動紹介をしあうことができればと思っています。

茅野理事：PUMは、会員発のプロジェクト提案ということで継続して行なってきたもので、今後も継続していきたいと思っています。ただ、発表したら落ち着いてしまうという形ではなくて、会員の方々がおもしろいと感じたら、一緒になって成長していくということが大事でしょう。事務局のサポートがないと進まないということだと、全てのサポートはできないので、絞り込む必要がありますし、しかし絞り込むための基準もなく、基準化は適切ではないでしょう。提案されたものを成長させていく、主体的に動くというのが会員にとって重要です。あるいは、資金的には、県庁はじめ行政の方々も企業の方々も参加して、プロジェクトへのスポンサー探しもできるような形もありかと思っています。

会員1：発表者が責任者として進めているが、悩み事があるので、相談に乗って欲しい、あるいは、さらに助言できることがあればお願いします、というのがPUMの会の趣旨であって、誰かやって欲しいだと、やはり進みにくいと思います。

高木議長：ありがとうございます。

ユース会員の新設に関してです。県内の高校、大学などで活動している人たちのネットワークづくりを計画しています。横に繋ぐような会を作れないかなと思っています。高校生がどのような形なら参加できるのか分からないのですが、計画を作る際にヒアリングすると自分で動こうという考えも聞かれます。我々から積極的に、若い人の声をヒアリングしていくことも検討したいと思います。

会員1：県のゼロカーボン戦略に関して。高い目標に対して、どのように実現していくか。全体デザイン会議のようなものを開催してイメージを明確化、議論する場が早めにあるといいのでは。

合原理事：明日からも始めることと、長期的な戦略があります。ゼロカーボン戦略は膨大なので、各自治体の持つ課題や信州ネットで協力できることを探る機会が必要ではないでしょうか。

会員2：高校生との連携に関して。2030年に向けて、今日も活動しています。信州ネットとして仕組みを作っていますが、同時に、若者たちのまずは動く、アピールするという取り組みも同時進行で連携していきたいです。

茅野理事：県ゼロカーボン戦略には「県民会議」というコンセプトがありますが、ワイワイガヤガヤと多様な声、老若男女が集う場になるように進めたいです。若者が主体となる動きを、我々が支えるような形で。長野県環境学生コミュニティという企画を準備しています。各地域で動きも出てきています。自治体の実行計画で学生を交えるような流れもあります。信州ネットが種を蒔いてきた動きもあります。役割が増してきていると思いますので、情報を交流して

信州ネットの力を一気に上げていくパワーアップの動きが必要と思っています。信州ネットが長野県の間支援組織として活躍が期待されています。財政的な面も含めて、組織の発展を行っていく必要があります。

浅輪事務局長：一会員としての意見ですが、若者からの意見もたくさん来ており、特にカーボンバジェットに関して、2030年までの目標をより高く設定するべきだという運動からの声があります。信州ネットの大人の会員としては、専門家としてそれをどう実行するかを答える立場で、我々から提案・実行する必要があると思います。急激な脱炭素を進めるのには、ゼロカーボン戦略が示したように、屋根100%ソーラー利用や、建築の断熱化、交通で移動距離の短い街づくりの三つは必須になると思います。では義務化するのはできるのか。インフラに関わるので時間もお金もかかるし、今までの生活様式の変換が必要なので反対意見も多いでしょう。そこで平岡先生のセミナーにあったように、ゼロカーボンの社会変革は、人々の暮らしを豊かにするんだというイメージを具体的に持ってもらえるような働きかけをして、一般の人たちが進んで行うようなことが必要ではないでしょうか。

高木議長：チャットも含めて活発な意見が続いていますが、時間も超過していますので、予算の説明もお願いします。

第6号議案 2021年度 予算計画（案） 資料6-1 6-2 6-3

浅輪事務局長：運営会議と基本は同じです。概要を6-1に記しました。任意団体の予算は前年並み、一社の方は、外部の事業委託、補助金などを積極的に得ていこうという計画になっています。

会員3：ゼロカーボン戦略案に関して、内容が膨大なので市町村との連携が必要ということですが、県との話し合いはすぐに始めるべきかと思います。どのように実行していくのか、ということが重要になっています。

高木議長：長野県との話し合いは非常に重要ですし、今までも継続してきました。

茅野理事：対話のフェーズから行動のフェーズに移っていく局面にあると思います。地元の審議会などに信州ネット会員からアプローチして、どういう動きをするとどういう反応がありそうだ、というようなことを共有していき、あちこちで動いて繋いでいくのが重要だと思います。地域の協議会のパワーアップも必要ですし、そのような枠も超えて、いろんな動きが共有されて参考にしあえるといいかと思います。

長野県松本補佐：具体的な内容はともかく、ぜひ対話から行動計画を作る中で連携をしていきたいと思っています。

採決 満場一致で第4号第5号第6号議案 承認された。

6. 議長退任

7. 閉会